

令和5年度事業報告書の承認について

1 事業の成果

福島県、福島県阿武隈地域振興協議会などからの委託業務を積極的に活用して、地域づくりに特化した中間支援組織としての事業を企画し、実効性のある事業に組み立てて実施した。

特に、2年目になる阿武隈地域人材育成事業（あぶくま人づくり塾）に力を入れ、塾生と積極的に交流した。

実施した業務は、下記の通りである。

◆ 令和5年度福島県復興支援員設置業務委託

※8年目となる福島県からの委託業務を行なった。復興支援員3人を、阿武隈地域を北・中・南に区分し、適材適所に配置した。事業の概要は、別紙の通りである。

※工程表を適宜作成し、工程管理を徹底した。ただし、不十分だった。

※本業務における相談業務に力を入れた。しかし、地域づくりに係わる相談業務は思いのほか難しいことが、改めて分かった。

※復興支援員等交流会にも参加した。

※この事業に関連して、地域おこし協力隊に係わる県の事業等に参加した。例えば、地域おこし協力隊やOB・OG復興支援員の活動報告交流会 地域の担い手文化彩（2023年11月22日開催）などである。

⇒このことを通して、浜通り地域で活動する諸団体やキーパーソンとの交流が進んだ。阿武隈地域と浜通り地域の連携の大切さを自覚した。



- ◆ あぶくまフェア2023催行業務委託（会場は、福島県観光物産館）

前期： 9月8－10日

後期：10月20－22日

※別紙報告書

- ◆ 阿武隈地域人材育成事業
（あぶくま人づくり塾）

業務委託

キックオフ講演会：7月

14日（金）

第1回WS : 9月

29日（金）

第2回WS : 11

月10－11日（金・土）

※メンター（助言を与え

る人、指導者）を2人選び、充実させた。

※2022年度、2023年度の塾生向けに、適宜情報提供を行った。



- ◆ 聞き取り調査の実施

阿武隈地域で活動する「対照的な団体」を選び、聞き取り調査を行い、「地域づくり活動団体における法人化に関する調査報告書」にまとめた。

- ◆ 自主研究として、「阿武隈地域の課題を、SDGsの視点で整理すると・・・」「資料「小さな拠点と地域運営組織」に基づく阿武隈地域南部における「小さな拠点」づくりの可能性について」などをまとめた。

- ◆ その他の事業

諸団体へ、補助金情報等を定期的に、案内した。その結果、補助金を獲得することができた団体が複数あった。

上記の活動を行うために、福島県地域振興課、福島県阿武隈地域振興協議会をはじめ、阿武隈地域の地方振興局、商工会、観光協会・観光事業者、道の駅、宿泊施設などと連携に努めたが、不十分だった。

田村市との連携などを視野に入れた、**昆虫の聖地協議会**に入会した。

また、阿武隈地域の特色ある市町村との関係強化を図る事業として、矢祭町と同町のNPO法人、具体的にはNPO法人まち・ひと・みらい（2022年12月22日認定、代表者・押田洋平）との連携強化を図った。現在、関係強

化に努めている。

新しいマークである、キツツキを使用する機会を増やした。



組織基盤を充実させるために、総会、理事会を、下記のとおり開催した。

第1回理事会 令和5年 6月 9日 (金)

令和5年度通常総会に係る議案書について

通常総会 令和5年 6月 9日 (金)

第2回理事会 令和5年 6月 9日 (金)

理事長及び副理事長の選出について

第3回理事会 令和5年12月15日 (金)

矢祭町の地域づくり団体「NPO法人まち・ひと・みらい」との連携協力の覚書（仮称）の締結について

令和6年度に向けての職員の配置について

第4回理事会 令和6年 3月 8日 (金)

令和6年度通常総会の議題について

あぶくま人づくり塾生に関する調査と政策について

財政基盤を充実させるために、福島県などからの見積り打診には積極的に対応した。具体的には、農村型地域運営組織形成支援事業（農村振興課）に係る見積書である。

2 事業の柱を次のように定め実施した。

(1) あぶくま学に係る事業

◎あぶくま学の講座の企画

◎阿武隈地域人材育成事業

◎地域づくり支援に役立つ勉強会への参加

◎過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の勉強会開催

(2) 交流の推進に係る事業

◎福島県復興支援員設置業務（福島県地域振興課からの委託業務）

(3) 産業の振興に係る事業

- ◎あぶくまフェア2023の企画開催(福島県阿武隈地域振興協議会からの業務委託)

(4) 基盤づくりに係る事業

- ◎あぶくま人づくり塾生との交流(支援を含む)
- ◎都路事務所の利活用促進(補助金説明会の開催)

(5) 中間支援に係る事業

- ◎相談業務
- ◎聞き取り調査の実施(2団体)
- ◎(中間支援組織の機能としての)「あぶくま地域づくり支援センター」
- ※このことは、諸般の事情があり進まなかった。
- ※一方、令和6年能登半島地震(2024年1月1日16時10分。M7.6、震度7)に関する石川県内の諸団体の動きなどを学ぶ機会があった。

(6) ホームページによる情報発信に係る事業

- ◎Web掲載の記事数を増やす活動
- ◎ホームページのリニューアル等

(7) その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

- ◎諸団体との連携を強める事業
- ◎阿武隈地域の市町村との関係強化を図る事業

3 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場 所	従事者 の人数	受益対象者 の 範囲及び人 数	支出額 (千円)
① あぶく ま学に 係る事 業	あぶくま学の講 座の企画	通年	都 路 事 務 所	4 人	阿武隈地域 全域	250
	阿武隈地域人材 育成事業	通年	都 路 事 務 所	3 人	阿武隈地域 全域	100
	地域づくり支援 に役立つ勉強会 への参加	通年	郡 山 事 務 所	2 人	阿武隈地域 全域	50
	新たな過疎対策 に向けて～持続 可能な低密度地 域社会の実現～ の勉強	9月	郡 山 事 務 所	1 人	阿武隈地域 全域	50
② 交流の 推進に 係わる 事業	福島県復興支援 員設置業務（福 島県からの委託 業務）	通年	都 路 事 務 所	4 人	阿武隈地域 全域	11,526

③ 産業の振興に係る事業	あぶくまフェアの企画・開催	9月8－10日 10月20－22日	「コラッセふくしま」(福島駅西口複合施設)	3人	福島全域	900
④ 基盤づくりに係る事業	あぶくま人づくり塾生との交流(支援を含む。)	通年	郡山事務所	4人	15人+α	50
	都路事務所の活用促進(補助金説明会の開催=企画のみ)	通年	都路事務所	4人	阿武隈全域	50
⑤ 中間支援に係る事業	相談業務	通年	都路及び郡山事務所	1人	20団体	200
	聞き取り調査の実施(いいたて雪っ娘かぼちゃプロジェクト協議会、NPO法人あぶくま山の暮らし研究所)	12月1月	先方事務所	2人	飯舘村、田村市都路町	0
	「あぶくま地域づくり支援センター」(仮称(企画のみ))	通年	都路事務所	4人	阿武隈全域	50

⑥ ホームページによる情報発信に係る事業	Web掲載の記事数を増やす活動	通年	都路事務所	4人	阿武隈地域全域	50
	ホームページのリニューアル等	8月ころ	郡山事務所	2人	阿武隈地域全域	300
⑦ その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	諸団体との連携を強める事業	通年	郡山事務所	1人	阿武隈地域全域	100
	阿武隈地域の特徴ある市町村との関係強化を図る事業	通年	郡山事務所	1人	阿武隈地域全域	69

その他の事業

令和5年度は、その他の事業は行わなかった。